

株式会社パリンカ 会社概要・沿革（2023年10月現在）

社名 株式会社パリンカ

所在地 宮城県仙台市青葉区霊屋下 19-8

代表取締役 小関 康

電話番号 022-213-7654

事業内容 飲食業

売上規模 5150万円(2022.7月～2023.6月期)

従業員数 9名

取引銀行 七十七銀行
楽天銀行

主要仕入先 服部コーヒーフーズ株式会社

主要取引先 株式会社藤崎 株式会社レック

企業沿革

1996年3月現所在地において客席38席のイタリアンレストラン「レストランパリンカ」を開業。

仙台駅より車で10分の緑豊かな伊達政宗の霊廟で「瑞鳳殿」参道入口に位置し、とても閑静な場所にある。市内きっての観光地であるため、観光周遊バスの停留所が店舗前にあり観光客の来店も多い。

また、周囲には青葉城址・宮城県美術館・仙台市博物館・東北大学・広瀬川が散在し、文化的な環境に溶け込んだレストランを目指し、店内には様々なアーティストによる絵画も常時展示している。音楽家とのつながりも深く、開店当初のキャッチコピー「音楽とイタリア料理を」に表れるように、音楽と料理をともに楽しむイベントを数多く開催してきた。

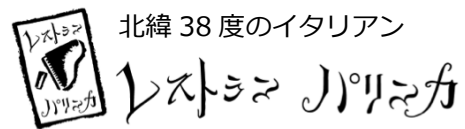
2007年7月 法人化。

2009年3月 隣接する第一伊藤ビル1階にカフェ業態「カフェパリンカガレリア」をオープン。瑞鳳殿を訪れる観光客が気軽に立ち寄れる洋食メニューの提供を始める。また兼ねてより交流があり、Canon 写真新世紀でグランプリを獲得しながら早逝した写真家中村ハルコ氏の遺作となった写真集「光の音」の中の作品を展示している。

一方レストランパリンカでは、平成22年より「北緯38度のイタリアン」をキャッチコピーとし、さらに料理のクオリティを追究し地元の食材を積極的に使用したイタリアンレストランとして営業を展開する。

2012年 宮城県の地産地消推進店として認定を受ける。

2013年には地元の基幹病院とタイアップし、健康を気遣う人が安心して外食できる店を増やそうと「医食同源プロジェクト」の立ち上げに招聘され、同プロジェクトの認定による「宮城カルテ食堂」の普及に尽力し加盟店への講習やメニュー開発の助言を行った。



2016年より地元仙台市の老舗百貨店「藤崎」のテナントスペースにて流通商品の販売開始。コロナ禍における中食需要により、売り上げを伸ばしている。

2021年開業25周年を迎え、新たな事業として地元のすぐれた食材に光を当てた、オリジナルレトルトパスタソースの開発に着手。「みやぎパスタ紀行」シリーズとして藤崎百貨店のお中元ギフトセンターのセレクト商品として先行発売し、200セット以上の販売実績を上げる。

2021年9月 仙台商工会議所主催の合同プレス発表会において、報道各社に向けた「みやぎパスタ紀行」についての発信を行い、生産者とのつながりを重んじた活動として各方面から反響を得、ミヤギテレビ《OH!バンドス》、東日本放送ニュース番組《チャージ!》、仙台経済新聞、河北新報などの地元メディアで紹介された。同月ECサイト、BASE及び楽天市場での販売を開始する。現在6種類の商品ラインナップを販売している。

2022年3月 仙台市のチャレンジ補助金の採択を受け、店舗敷地内にオリジナルイタリアンソフトクリーム「ナポリの青」をオープン。マスカルポーネチーズと地元大崎市田尻のジャージー牛乳をたっぷりを使用した、「ティラミス」と「仙台いちご」のソフトクリーム2種類を販売している。こちらについても、東日本放送、ミヤギテレビ、仙台放送を始め多数のメディアに取り上げられ、仙台市経済局の公式ツイッターなどでも紹介されている。

2022年5月 七十七銀行より「77SDGs支援サービス」の提供を受け、SDGs宣言を行う。

2023年1月 「おいしい山形・食材王国みやぎ合同ビジネス商談会」に出品した《一みやぎパスタ紀行―仙台牛のポロネーゼ》が「おいしい山形・食材王国みやぎ新商品アワード2022」を受賞。

2023年7月 仙台市の「都の杜・仙台」プロジェクトに参画し、《一みやぎパスタ紀行―仙台牛のポロネーゼ》、《一みやぎパスタ紀行―全6種セット》を対象商品として登録。

